

特別支援教育関連メールニュース

2025 年 8 月号 (Vol.8, No.1)

日本作業療法士協会 制度対策部 保健福祉課 障害児支援班 (教育領域支援推進チーム)

● 1 回目：「教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会」の報告

今年度も「教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会」は、年 2 回の開催となりました。第 1 回は 7 月 19 日 (日) に実施され、各士会の取り組みを共有することを目的に、2 県士会からの話題提供と全士会によるグループワークが行われました。

話題提供①：山梨県作業療法士会 特別支援教育委員会の実践報告 (伊藤仁香氏)

特別支援教育 OT 委員会では、子どもの理解や対応方法、作業療法の活用を地域に広める「OT の普及・気づき支援グループ」、特別支援教育に関わる OT の育成と専門性向上を目指し、教育現場での助言や他分野 OT との連携を進める「人材育成グループ」、そして発達に課題のある子どもの居場所づくりや社会性発達支援を行い、子どもや保護者の交流を促す「地域でのつながりづくりグループ」の 3 つに分かれて活動を進めてきたことが報告されました。今後は「身近で気軽な相談窓口」の設置を目指し、人材育成や広報方法の検討を進めていくとのことです。

話題提供②：栃木県士会における特別支援教育への取り組み (関森英伸氏)

栃木県士会では、2013 年に「特別支援教育スクール OT 推進検討委員会」を発足し、外部啓発と人材育成を戦略的に推進してきました。現在は 7 名の部員で多数の事業に参画しており、人材不足が課題となっています。その解決に向け、卒前教育も含めて特別支援教育に関心を持てる仕組みを整備し、LINE 公式アカウントを活用した研修管理や、研修受講・現場経験者への認定証発行など、さまざまな工夫を行っていることが紹介されました。

グループワーク

グループワークでは、2024 年度に実施した都道府県士会アンケートで挙げられた課題をもとに、①教育領域における OT の役割の明確化と展望、②士会としての支援体制づくり、③人材育成とマンパワー確保、④教育機関との連携や制度的課題、⑤活動の見える化と発信について議論を行いました。これらはいずれも各士会で関心の高いテーマであり、課題意識を共有しながら活発な意見交換が行われました。その中でも特に「人材育成」は、全国的に共通する大きな課題であることが改めて明らかになりました。

● 2 回目：「教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会」開催について ＜ 士会員の皆様にご案内ください ＞

【日 時】2026 年 1 月 16 日 (金曜) 19:30~21:00 (ZOOM)

【テーマ】「特別支援教育に関する最近の動向 (仮)」

【講 師】酒井康年 氏 (日本作業療法士協会 制度対策部 副部長)

【内 容】・酒井副部長による講演

- ・「学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会」基礎編と実践編の開催手順に関する説明 (協会制度対策部保健福祉課)

※グループワークは予定していません。質疑の時間はとらせて頂きます。

【参加対象】 日本作業療法士協会員 人数制限はありません（無料）
士会員の皆様にもご案内ください。

【参加登録】 申込フォームより登録ください <https://forms.gle/nwuM4S37HXTLYofv8>

●日本作業療法士協会の学校教育領域への取組について発表します

教育領域支援推進チームでは、作業療法士の学校教育領域での活動と日本作業療法士協会の取組について内外に知っていただくため、関連学会や日本作業療法学会等で発表をしています。今年度は、学校の先生方が多く参加される日本特殊教育学会と、日本作業療法学会にてポスター発表を行います。学会ご参加される方はぜひお越しください。

日本特殊教育学会第 63 回大会

会期：2025 年 9 月 13 日（土）～9 月 15 日（月・祝）

会場：水戸市民会館（茨城県水戸市泉町 1 丁目 7 番 1 号）

演題：多様化する学校作業療法士の関与形態の整理（P8-66）

発表日時：2025 年 9 月 15 日（月曜日） 8：30～10：00

発表会場：ポスター会場

第 59 回日本作業療法学会

会期：2025 年 11 月 7 日（金）～11 月 9 日（日）

会場：サンポートホール高松・かがわ国際会議場・あなぶきアリーナ香川

演題：学校を理解して支援ができる作業療法士育成への取り組みの成果（PR-2-35）

発表日時：2025 年 11 月 8 日（土曜日） 12：30～13：30

発表会場：ポスター会場